

小田原市生活保護行政議員団視察

- 【視察日】 2018年11月15日(木)
【視察先】 神奈川県小田原市
【調査事項】 生活保護行政

【調査概要及び所感】

《概要》

- 1、生活保護行政の現状、世帯数・人員、保護利用者の構成、申請状況などの特徴
 - 2、2013年、2018年、生保基準改定の影響
 - 3、生活保護改革の柱とその到達点、評価
 - 4、今後の改革の重点について
- 以上について生活支援課長より説明を受けました。

質疑は、生活保護改革の柱とその到達点、評価についての事項に集中しました。同席した生活支援課副課長、生活支援課保護係主事より、補足説明もあり、より豊かな内容を学ぶことができました。

《所感》

小田原市は今年のジャンパー事件後、生活保護行政のあり方検討会を立ち上げ、同検討会からの改善策の提言に基づき、取り組まれてきた状況を詳しく報告を受けました。

- 1 援助の専門性を高める研修や連携による学びの場の質的転換
- 2 利用者の視点に立った生活保護業務の見直し
- 3 利用者に寄り添い、ケースワーカーが職務に専念できる体制づくり
- 4 「自立」の概念広げ、組織目標として自立支援の取り組みを掲げる
- 5 市民に開かれた生活保護を実現する

以上の5本の柱から組み立てられていました。特筆すべきは、職員研修の充実、ケースワーカーの増員、生活保護決定法的期限の順守、生活保護しおりの改善、市民、生活保護利用者へのアンケート活動などのとりくみでした。

大分市の生活保護行政に生かすべき課題を明確にすることができた充実した視察研修となりました。今後大分市の生活保護行政の施策改善に向け、提言をしていきたいと考えています。